

月	季節と行事	題	目	時間	学 習 活 動	單元との関係	備 考
4	始業式 入学式 桜のたんぼ すみれ、たんぼ 草木がもえだす 日母に駿かくなる 天長節	花	おひばり	5	○「花」歌唱 G. $\frac{2}{4}$ 合 ・よく知られている歌であるが旋律を正確に歌う ・間奏を正しくきいて歌う ・伴奏と一體として歌う ○「花(合唱)」鑑賞(レコード) ・瀧廉太郎について ・合唱の模範としてきく ○器 楽 ・ピアノ、オルガンを中心として練習 自分の好きな楽器を練習 ○作曲 ・和音の進行や形式を考えて作曲する ・二部、三部合唱を作つて見る 5 ○「おおひばり」歌唱 E♭. $\frac{4}{4}$ 合 ・単音で練習して後輪唱、合唱をする ・跳躍する旋律の動きと、生氣に満ちた曲想を表現する ・フェルマータの歌い方 ○「トツカタとフーガ=短調(バツハ)」鑑賞(レコード)	1の(1) 歌唱及び演奏技術の向上特に合唱、合奏の技術を向上させる 2の(1) リズム、旋律、和聲及び形式と総合的に与えらるる力を高める 2の(2) 音楽の要素、形式、構成に對する知的理解を高める 2の(3) 音楽の歴史的發展に對する理解をもたせる 1の(1) 1の(4) 音楽の内容及び形式に對する理解にもとづく演奏を行わしめる 1の(5) 創作の興味を増大させ次第にまとまりを持つた曲をつくらせる 1の(1) 1の(2) 表現的技術を向上させる 1の(3) 詩の内容を音楽的に生かすことにつとめる 3の(1) 音を感性的にとらえることを通しその意味する内容及びその持つ情緒を理解させる	
5	新憲法實施記念日 鯉のぼり 麥がのびひばりがさえる	おひばり	おひばり	5	・オルガンの演奏 ○「フランドンブルグ協奏曲第五番=短調」鑑賞(レコード) ・バツハについて ○器 楽、個別練習する ○作曲 二聲進行を研究する ○「春の日」歌唱 C. $\frac{6}{8}$ ・六拍子の歌い方 ・發聲、發音を注意して歌う ○「フランドンブルグ協奏曲第五番二短調」鑑賞(レコード) ○器 楽 ヲズム楽器とピアノを中心として合唱する ○作 曲 ・二聲進行の研究をする ・各自の作品を批判する 3 ○「野ばら」歌唱 D. $\frac{2}{4}$ (シニューベルト) ・第八、第九、第十小節の旋律の取扱い、變化音について ・フェルマータ Tempo I等について ・美しく發想を十分につけて歌う ○「オラトリオ(救世主)ハレルヤコーラス」鑑賞(レコード)		

6	木の芽遠足 創立記念日 健康週間 晴天がたっぷり	春の	おひばり	3	・オルガンの演奏 ○「フランドンブルグ協奏曲第五番=短調」鑑賞(レコード) ・バツハについて ○器 楽、個別練習する ○作曲 二聲進行を研究する ○「春の日」歌唱 C. $\frac{6}{8}$ ・六拍子の歌い方 ・發聲、發音を注意して歌う ○「フランドンブルグ協奏曲第五番二短調」鑑賞(レコード) ○器 楽 ヲズム楽器とピアノを中心として合唱する ○作 曲 ・二聲進行の研究をする ・各自の作品を批判する 3 ○「野ばら」歌唱 D. $\frac{2}{4}$ (シニューベルト) ・第八、第九、第十小節の旋律の取扱い、變化音について ・フェルマータ Tempo I等について ・美しく發想を十分につけて歌う ○「オラトリオ(救世主)ハレルヤコーラス」鑑賞(レコード)	2の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(5) 1の(1) 1の(2) 3の(1) 1の(1) 1の(5) 1の(1) 2の(2) 3の(1)	
6	野ばらが咲く 時の記念日 入梅	野	おひばり	3	・オルガンの演奏 ○「フランドンブルグ協奏曲第五番=短調」鑑賞(レコード) ・バツハについて ○器 楽、個別練習する ○作曲 二聲進行を研究する ○「春の日」歌唱 C. $\frac{6}{8}$ ・六拍子の歌い方 ・發聲、發音を注意して歌う ○「フランドンブルグ協奏曲第五番二短調」鑑賞(レコード) ○器 楽 ヲズム楽器とピアノを中心として合唱する ○作 曲 ・二聲進行の研究をする ・各自の作品を批判する 3 ○「野ばら」歌唱 D. $\frac{2}{4}$ (シニューベルト) ・第八、第九、第十小節の旋律の取扱い、變化音について ・フェルマータ Tempo I等について ・美しく發想を十分につけて歌う ○「オラトリオ(救世主)ハレルヤコーラス」鑑賞(レコード)	2の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(5) 1の(1) 1の(2) 3の(1) 1の(1) 1の(5) 1の(1) 2の(2) 3の(1)	

水	泳			○器樂 樂器もちよつて合奏をする ○作曲 曲の形式の研究	1の (1) 2の (2)
夏	行	演	べの歌	○「濱べの歌」歌唱 F. $\frac{6}{8}$ ・よく知つている歌だから正しい歌い方で歌う ・發想は十分つけて歌う ・變化音に注意する	1の (1) 1の (2)
(海	の旅			○「歌劇ワルキューレホーヨーホー」鑑賞 (レコード) ・ソプラノの歌い方	3の (1) 3の (3)
夏	自由研究發表會			○器樂 夏休みの練習目標をきめる ○作曲 民謡や童謡の採譜のしかたについて研究する	2の (1) 3の (2)
夏	夏休作品展覽會				
彼	夏季日課終了			○「浦のあけくれ」歌唱 G. $\frac{4}{4}$. 3合 ・獨唱 (齊唱) の部と合唱の部との調和 ・よびぎいて歌う ・伴奏と合わせて氣持よく歌う	1の (1) 1の (2) 3の (1)
十	夏	日	浦のあけくれ	○「浦のあけくれ」鑑賞 (レコード) ・合唱の模範として	2の (1) 1の (1)
十	夜			○器樂 夏やすみ中ならつたものを發表する ○作曲 夏やすみ中の作曲や採譜を發表する	1の (1) 1の (5)

七	夕	からたちの花が咲く	からたちの花	○「フンドル」について ○器樂 各自の樂器で獨奏してみる ○作曲 歌詞を與えて作曲させる	2の (3) 1の (1) 1の (5)
七	夕	からたちの花が咲く	からたちの花	○「からたちの花」歌唱 Es. $\frac{3}{4}$ ・發想上のいろいろの要求をよく表現する ・拍子の變化に注意する ・美しく歌う	1の (1) 1の (2) 1の (3) 1の (4)
七	夕	からたちの花が咲く	からたちの花	○「歌劇「ランメルセルのルチア」狂亂の場 (ドニツェツァイ)」鑑賞 (レコード) ○同六重唱鑑賞 (レコード) ・ソプラノや六重唱について ○器樂 歌曲の伴奏をする ○作曲 自作の詩に作曲する	3の (1) 3の (3) 音樂の様式についての理解をもたせる 2の (2) 2の (4) 音樂と他の藝術及び文化一般との關連を通し普遍的な人間性について理解させる 1の (5)
七	夕	からたちの花が咲く	からたちの花	○「ふるさとの歌」歌唱 F. $\frac{2}{4}$. 2合 ・主旋律をよく生かして歌う ・裝飾音を指導する ・テムポルバートによるナポリ民謡の歌い方	1の (1) 2の (1)
七	夕	からたちの花が咲く	からたちの花	○「交響曲第五番ハ短調 (運命)」ベートーベンの鑑賞 (レコード) ・交響樂の形式について ・主題と發展	3の (1) 2の (2) 2の (3)

10	運	委	動	會	秋	の	野	原	5	○「秋の野原」歌唱 D. $\frac{2}{4}$. 3合	10 (1)
				刈						・視唱で十分に旋律を習う	
				自然はすつかり秋になる						・和聲的合唱部分とカノン風の部分の特色を歌い出す	10 (4)
				十	三	夜				・發想つけて歌う	10 (2)
				紅		葉				○「レオノーレ序曲第三番(ベートーベンの鑑賞 (レコード))	30 (1)
										・レオノーレ序曲について	20 (2)
										・管絃樂のさき方	20 (3)
										○器樂 自由練習	10 (1)
										○作曲 合唱曲をつくってみる	10 (5)
						空は澄んでくる砂				○「砂山」歌唱 C. $\frac{4}{4}$	20 (1)
										・ハ短調の歌	10 (1)
										・第一拍休止符のリズム 3JJJ を十	20 (1)
										分歌い出す	
										・發想をつけて歌う	10 (3)
										○「歌劇「サドコ」インドの歌」鑑賞 (レコード)	30 (1)
										・リズムスキークオルサコフについて	30 (3)
										・テナーの歌い方	20 (1)
										○器樂 自由練習	10 (1)

11	たけ狩り (まつたけ, はつたけ)	明部	治落	節祭	たけ狩り	5	○作曲 三部合唱のつくり方の研究	10 (1)
							○「たけ狩り」歌唱 G. $\frac{6}{8}$. 3合	10 (1)
							・視唱で合唱を試みる	
							・六拍子の曲想を生かして歌う	
							○ピアノ協奏曲 第五番變ホ長調作品73「皇帝」鑑賞 (レコード)	30 (1)
							・ベートーベンのピアノ協奏曲について	20 (2)
							○器樂 音樂會のための練習	10 (1)
							○作曲 終止を限定して合唱曲をつくってみる	10 (5)
11	公開研究會	姉	妹	3	○「姉妹」歌唱 B. $\frac{2}{4}$. 2合	10 (1)		
					・視唱によつて旋律を正しく歌う			
					・音程の跳躍している所の歌い方に注意する	10 (4)		
					・發想をつけて歌う	10 (2)		
					○器樂 各自の樂器を練習する	10 (1)		
					○作曲 作曲したものを批判し合う	20 (1)		
					○「追憶」歌唱 E. $\frac{4}{4}$	20 (2)		
					・ハ短調の視唱練習	10 (1)		
					・變化を注意して歌う	20 (1)		
					・發想を自分でつけてみる	10 (4)		
1	防	火	追	憶	3			
	冬季日課開始							
	自由研究發表會							

1	音ク	正	大		3の (1)
	リ	入			2の (3)
	マ				1の (1)
	ス				2の (4)
	マ				1の (1)
	ス				2の (4)
	メ				1.2.3.4
	ホ				1の (1)
	メ				1の (4)
	ホ				2の (1)
	メ				2の (2)
	ホ				3の (1)
	メ				3の (2)
	ホ				3の (3)
	メ				1の (1)

○前奏曲牧神の午後 (Fビッソー) 鑑賞 (レコード)
 ・Fビッソーについて
 ○器楽 音楽會のための練習をする
 ○作曲 唱歌劇をつくつてみる
 4
 ○「はたらき男」歌唱 B. $\frac{4}{4}$. 2合
 ・主旋律をよく歌う
 ・アツチエラランドについて
 ・和聲に注意して歌う
 ○器楽 音楽會の練習をする
 ○作曲 唱歌劇をつくつてみる
 ○積奏 合唱, 器楽
 ○鑑賞
 4
 ○「Home sweet home」歌唱 B. $\frac{4}{4}$. 混4合
 ・混聲合唱の基本的な練習をする
 ・アカペラの合唱の差を味わせる
 ・發音に注意して歌う
 ○「越天樂 (雅樂)」鑑賞 (レコード)
 ・日本古代の音楽について
 ○「インド音楽」鑑賞 (レコード)
 ・東洋音楽について
 ○器楽 まとまつた曲を練習する

は たら き 男
 音 樂 會
 Home sweet
 meho

會 ス 月 り 寒
 樂 ス 入 寒
 音 ク 正 寒 大

2	立	春	子	歌	3	1の (5)
	紀	元	節		3	1の (1)
	先	生	と	父	母	の
	公	開	研	究	會	2の (2)
						2の (3)
						1の (1)
						1の (5)
						1の (1)
						2の (1)

○作曲 音楽劇をつくつてみる
 3
 ○「岸べの冬」歌唱 F. $\frac{3}{4}$
 ・三拍子に注意して歌唱
 ・ロシヤ民謡について
 ○「ハンガリヤアラブソディ第二番(リスト)」鑑賞 (レコード)
 ・リストのピアノについて
 ○器楽 自由練習する
 ○作曲 音楽劇をつくつてみる
 3
 ○「子守歌 (ブラームス)」歌唱 Es. $\frac{3}{4}$. 2合
 ・視唱によつてレガート唱
 ・代表的なる子守歌の比較研究
 ・裝飾音の歌い方
 ○「組曲 ベトルシカ (ストラヴィンスキー)」鑑賞 (レコード)
 ・管絃樂についてのきき方
 ・ストラヴィンスキーについて
 ○器楽 自由練習する
 ○作曲 子守歌をつくつてみる
 2
 ○「たゆたう小舟」歌唱 As. $\frac{4}{4}$
 ・變イ長調はじめてであるから十分に視唱する

月 岸 べ の 冬
 春 子 守 歌
 先 生 と 父 母 の 會
 公 開 研 究 會
 た ゆ た う 小 舟

3	ひなまつり (學藝會)	故郷を離るる歌	3	・變化音を正しく歌はせる ○「ピアノ五重奏へ短調(セザンルフラソク)」鑑賞(レコード) ・セザンルフラソクについて ・ピアノ五重奏について ○器樂 ピアノを中心とした合奏 ○作曲 音樂劇をつくつてみる ○「故郷を離るる歌」歌合 D. $\frac{4}{4}$. 3合 ・ = 長調終止形合唱 ・ 視唱によつて合唱する ・ 發想をよくつけて歌う ○「歌劇トスカ, 星はきらめきぬ」(ブツチャー =)鑑賞(レコード) ・ テナーの歌い方 ・ ブツチャー = について ○「ローマ法王禮拜堂の聖歌」鑑賞(レコード) ・ 合唱について ○器樂 歌曲の伴奏と獨奏をする ○作曲 自由作曲をする 3	3の(1) 2の(2) 2の(3) 1の(4) 2の(4) 1の(1) 1の(4) 3の(1) 2の(1) 2の(3) 3の(1) 1の(1) 1の(5) 1の(1)
3	謝恩會	川	3	○「川」歌唱 Ex. $\frac{3}{4}$. 2合 ・ ヴルツ風な合唱の妙味を味わせる	

彼	岸		3の(3) 1の(4) 1の(4) 2の(1) 2の(2) 3の(1) 1の(1) 1の(5) 1, 2, 3, 4
修了式學藝會		・ いろいろの合唱技術を習得させる ・ 大膽な變化音複雜な轉調, テンポの急な變化, 國語調の歌詞等について ・ 發想に注意して歌う ○「合唱, 川」鑑賞(レコード) ・ 模範としてきく ○器樂 練習したものを發表しあう ○作曲 記録して學校に残す ○演奏 音樂劇合唱 ○鑑賞	

體育科學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 四季を通して運動場に展開される子供の遊びから糸口を求め、運動の特質を考へて季節的に配當した。
- 季節行事設備運動場の調子等は、子供の生活即ち子供の遊びと密接に關係しているし、去年の體力測定の結果も題材選擇の上に考慮した。
- 方法は子供の實狀に依つて考えられるのであるから、全くの概略である。民主的體育の方法について工夫して行きたい。
- 目標となつている平均記録は本年五月の測定の平均であるから、無理なく到達をめざしていいと思う。
- どこまでも當校を主に立案した試案である。實施した上での反省を備考にでも記しておいて、體育目的達成のための、よりよき來年度立案の素材ともなれば幸甚である。

22. 9 鹽 入 生

月	季節と行事	子供の生活	課題	器材	時間	學	習	活	動	備	考
4	始入天 季入花 節學長 と學長 行事節見 式式節見 式式節見		徒 短 ソ ダ 體 住 測	操 離 ポ ソ 目 衛 生 定	6	○基礎的體力を養い、動作を輕快敏捷にし、スタイルを優美にする爲にも、必要なことを自覺する ○各運動を正確に、且、極限まで行う ○男子は100mを15秒、女子は16秒位で走れるようにする ○走法を工夫すると共に競走の時の作戦をねる ○壘間20m, 10名チームで行う ○チームワークを工夫研究する ○表現技術の研究 ・自然運動によつて基礎的な身體をつくること ○心身兩面を健全にして社會人として人格を陶冶する ○住居が衛生的であるか、否かの検討をする ○改善工夫の餘地がないかどうかを調べる ○身長、體重、胸圍			社會 理 圖	農…七 二ノ家 住宅	

創立記念日 はなまつり 足織 新 體力測定 運動場の調子よろし	徒 走 ソフ ベ ダ	操 走 ポ ボ ソ ス	5	<p>○準備、整理としても大切であることを認め習慣にまですすめる</p> <p>○走距離100m—150mとする</p> <p>○バトンタッチ、コーナータップ追いつく時の規則をつくる</p> <p>○チームの爲に力走する</p> <p>○ゲームに依つて得られる體育的效果を認識する</p> <p>○表現技術の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然生活環境から取材したものを創作的表現に導く ・例 喜び、希望 <p>○主として球技及陸上競技について學ぶ</p> <p>○結核、近視、トラホームの豫防及び對策の研究</p> <p>○體質検査</p> <p>○體力測定</p> <p>100m 幅跳、懸垂屈び</p> <p>男 2000m 野球用ボール投げ</p> <p>女 1000m 排球用ボール投げ</p>	理科 家庭 微生物 六
--	------------------------	----------------------------	---	---	----------------------

小 時 の 記 念 日 舊 の 五 月 節 句 農 繁 期 刈 え ま ま ま 植 え 梅 雨 至 夏 ○雨降り多く運動には適しない ○病氣が多い	連 幅 三 ソ ベ ダ	續 跳 跳 ポ ボ ソ ス	6	<p>○鐵棒を用いて逆上り、脚懸上りの連続をやってみる</p> <p>○その前に各々の動作を一通り行り</p> <p>○連続の方法を種々工夫してみる</p> <p>○男420cm, 女は370cmを目ざしてやる</p> <p>○特に助走、踏切、空中の姿勢着地の事について個々に検討してみる</p> <p>○先ず跳ぶ調子を整える</p> <p>○ホップ、ステップ、ジャンプの配合を、一流選手のそれと自分のと比較してみる</p> <p>○人数が人にならないときの遊び方について工夫する</p> <p>○他校チームと試合を試してみる</p> <p>○作品の創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○表現の技術の研究の結果を作品に構成する <p>○主として水泳と、スキー、スケートについて</p> <p>○疾病豫防</p> <p>むしば、傳染病、消毒</p> <p>○食物の衛生及國民營養</p> <p>○體重、體温の測定</p> <p>○短距離走 球技 ダンス</p>	理科 理科 社會 微生物 食物の貯蔵 六
--	----------------------------	---------------------------------	---	---	-------------------------------------

梅雨あけて急に暑くなる	け 上 が り	準備として、既習題材の出来栄を鑑賞する ○特に高鐵棒でける時機を體得する ○上る氣にばかりなつて、腕をまげぬようにする ○他校と試合をしてみる ○結果について反省し、今後の學習要點を設置する ○作品創作 ○創作したものを鑑賞して創作に役立てる ○競泳を行う ○各種泳法の模範を鑑賞する ○救助法の實施 ○急性傳染病の豫防と手當 ○健全娛樂としてのスポーツについて	理 科 社 會 微 生 物 四
夏季特別時間割	ソ フ ト ボ ー ル 6 ダ ス 泳 病 氣 の 豫 防 餘 暇 の 利 用	○自分の練習に下級生を導く ○體重測定	
水 終 業 式	水 旅 測	泳 行 定	
7		8	

二百十日 式會 業 覽 會 夏季特別時間割 残 暑 あり 岸 夜 彼 五 候 よくなる	け 上 げ り 障 害 走 ハ ン ド ボ ー ル ダ ス ス ポ ー ツ マ ン シ ャ ツ 衛 生	○出来るようになつたら、その體驗を語つてやる ○らくにできるよりにする ○連続してできるよりにする ○110mの走路に10個の低障書を置いて走る ○踏切、跳越え方、歩幅等を工夫する ○障害物の種類と數をかえて行う ○各パートの責任を自覺する ○ゲームについて作戦をねる ○生活環境から取材した題材にて表現技術の研究 ・スポーツ、自然 ○實例について話し合う ○摩擦、衣服の衛生について	社 會 (六) 理 科 着 物
9	跳 上 が り 下 り 中 距 離 走 高 跳	○高さ約30cmの跳箱を横にして用う ○空中の姿勢や着地の姿勢を工夫する ○短距離走や長距離走に比較して、その特質を見出す ○400m, 800mを走つてみる ○男は1.2m, 女は1mをめざす ○跳べるところで反復練習する	
10	ス ポ ー ツ シ ー ズ 秋 の 農 業 期 掘 刈 會 々 さ つ ま 動 晴 續 稻 運 快	12	

<p>愛好の運動日と和 ある</p> <p>麥</p>	<p>スビードボール</p> <p>ダ ン</p> <p>運 動 衛 生</p> <p>運 動 會</p>	<p>○フライボール, グランドボールのあつかい 方を工夫する</p> <p>○各ボンジョンの責任を自覚する</p> <p>○作品創作の研究</p> <p>・濱千鳥の歌曲を題材にして創作してみる</p> <p>○障害防止, 過勞, 休養, 攝生について</p> <p>○運動時の姿勢</p> <p>○體重, 呼吸の測定</p> <p>○100m 障害競走</p> <p>ダンス, 球技, リレー</p>	<p>○飛び箱の高さは約 1.2m とする</p> <p>○胸立水平跳び越し</p> <p>○胸立斜跳び等行う</p> <p>○各パートの責任を自覚する</p> <p>○人数を名にして行う</p> <p>○ゲームを通して基礎練習と, チームワーク に力をいれる</p> <p>○生活感情から取材して創作研究</p> <p>・想い出, 愁い</p> <p>○オリンピック競技會及びその他の国際競技 についての概要を調べる</p>	<p>社 會 (一)</p>
<p>明治</p> <p>國民體育大會が開 かれる</p> <p>村 邊 紅</p> <p>寒さ急に 加わる</p> <p>體力測定</p> <p>11</p>	<p>跳 び 越 し</p> <p>サ ツ カ ー</p> <p>バ レ ー ボ ー ル</p> <p>ダ ン</p> <p>國 際 競 技</p>	<p>12</p>	<p>社 會 (一)</p>	

<p>木枯し強くほこり 立つ</p> <p>校庭は霜どけでぬ かる</p> <p>冬 季 終 冬 冬</p> <p>舞 臺 間 舞 式 み 至</p> <p>乘 休</p>	<p>衛 速</p> <p>跳 び 越 し</p> <p>バ ス ケ ッ ト ボ ー ル</p> <p>馬 遊 び</p> <p>ダ ン</p> <p>體 育 史</p> <p>都 市 衛 生</p>	<p>○それ等に關しての研試き機をつくる</p> <p>○寄生虫病の豫防と手當について</p> <p>○精神衛生について</p> <p>○高さ約80cmの跳箱を横にして用う</p> <p>○閉脚斜跳び越し</p> <p>閉脚垂直跳び越しを行う</p> <p>○一チーム5人として行う</p> <p>○反則と罰則をきめる</p> <p>○数人組で乗をつくり, 跳び乗つて遊ぶ</p> <p>○作品の鑑賞</p> <p>・日本舞踊をみる</p> <p>・舞踊をやつてゐる人の動作の研究</p> <p>○世界體育史の概略を學ぶ</p> <p>○都市に生活する者の公共衛生について</p>	<p>理 科</p> <p>微 生 物</p> <p>社 會 (一)</p>
<p>12</p>	<p>12</p>	<p>社 會 (一)</p>	

<p>雪ダ 遊ソ びス</p>	<p>○雪中の歩行、雪投げ、スキー、スケート ○創作発表 ・今までの研究の結果を發表して鑑賞力をやしなう ○家庭體育のあり方について ○職業の衛生的考察と對策を検討する ・體重測定</p>	<p>社會(六) 社會(四)</p>
<p>雪ダ 遊ソ びス</p>	<p>○學級、班、紅白、通學區等の對抗ゲームを行う ○種目は既習題材からえらぶ ○全部の生徒に参加の機會をつくる ○體育效果の反省をする ・體格體力體質の向上 ・精神的方向の影響 ・衛生的習慣の形成</p>	<p>社會(六) 社會(四)</p>
<p>雪ダ 遊ソ びス</p>	<p>雪 初終 寒さやつと和わら ぐ彼</p>	<p>3</p>
<p>年度末試合 體育的反省</p>	<p>會午式 藝了 寒さやつと和わら ぐ彼</p>	<p>3</p>

<p>正始 寒さ本格的になる 寒休</p>	<p>月式 業休</p>	<p>轉回 バスケットボール なわ跳び 押し合い 社會體育 農村衛生</p>	<p>1</p>
<p>節立 紀音 雪降り多し 寒さまだ強し</p>	<p>分春節會し</p>	<p>倒立 長距離走</p>	<p>2</p>
<p>○隨立で背支持前轉を行う ○倒立姿勢より轉回する ○高さ約60cmの臺上で轉回する ○競争として基礎練習をする ○各パートの責任を自覺する ○なわ跳びを歌曲に合せる ○競争 ・連続競争 ・速度 ○すもうを行う ○團體で園外に押し出し引き出しをする ○社會體育の設備や施設の現状と、その重要性について ○農村衛生の現状とその改善について</p>	<p>6</p>	<p>理科 社會六 農業(七)</p>	
<p>○交互に補助して倒立する ○倒立の時間、姿勢、歩き方等を競争する ○短距離走や、中距離走と比べて、その走法を工夫する ○男は200m、女は1000mを何分で走れるかをばかる</p>	<p>9</p>	<p>理科 社會六 農業(七)</p>	

圖畫工作科學習指導年次計畫

立案の要旨

- 子供の學習は季節と行事、子供自身の興味生活の實態、各教科の目標などがうまく融合して始めて學習指導の効果があがる、さうした立場から各項目を圖工の特殊性によつて慎重に決定した。
- 季節と行事は子供の學習意欲や興味の誘導に非常に大切なものであるから圖工の立場から特に重用な關連行事をあげた。
- 季節と行事から子供の生活がどう進展し、どんな事に特別な關心をもつか、どんな生活實態を展開するか、子供の生活を素直にながめてその内容とした。
- 中學校に於ては各教科の獨自性、各教科の目標が非常にはつきりとするので子供の生活からの出發より教科の目標からの出發が強いので子供の生活の項目を省いた。
- 季節行事、子供の生活、圖工の目標からどんな學習素材によつて學習活動することが大切か、つまりどん學習内容が生れるかをあらゆる點からながめて學習素材の項目にあげた。題目でなくどこまでも學習活動の内容から生れた一つの素材であると考えた。
- 學習活動は各單元のもつ目標を子供自身が達成するための自發的な活動と考えて、重要な生き生きとした實際活動を具體的に記した。
- 單元は文部省試案の單元をとり、それに獨自の單元を少し考え、量的には試案に示された比率によつて決定した。
- 學習目標は特に重要な點のみをあげて一般的な圖工の目標は出来る限り省いた。
- 連絡注意は各教科と細部にわたつて再三打ち合せて系統的な縦と横の關連をはかつた。
- 考査の判定は大別された方法のみで細かい具體的な内容は省略した。
- 行事とにらみあわせて時間的な増減と學習素材とは密接な關連をはかつた。
- 一年間の細部にわたつて授業時數を綿密に計算して、それにもとづいて各學年共授業總時間數を考えた。
- 寒、暑を考えて單元の配當を慎重に決定した。

月	季節と行事	學習素材	學 習 活 動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定
4	式式見代り節學 業學び取長節學 始入花苗わ天選	石膏像 鉛筆デッサン(2) 電氣設備類、ラジオ、ミシン(2) 實用色(2)	○石膏頭像、顔面線を鉛筆で描く練習 ○各部の割合を充分に觀察して正確に表現する ○明暗の調子を注意する ○理科と關連して電氣設備ラジオ、ミシン等の故障の發見や構造の研究、手入の仕方工夫練習する ○生徒の知つている實用色名(とき色、なんど色、うぐいす色)と標準色名との關係を色立體によつて色相、明度、彩度等について研究する	1. 描畫 ○正確な觀察力を養う ○素描力を養う 9. 設備、備品の保存及び修理 ○諸設備品の正しい保存法、使用法を理解し、使用法になれさせる 2. 色 ○實用色がどんな色であるかを研究し、色彩感覺の訓練をする	理科 機械 社會 職業 農業 機械と電氣の利用	一對比較法 記述尺度法 記述尺度法 記述尺度法
5	新憲法 記念日の 端午の節會 創立記念會 後援會 健康週 傳染病豫防	住宅の間取りと敷地内の諸設計(2) 各時代の美術と生活研究(2) ねじの略寫(2)	○敷地と建坪の實用的見地からの分割 ○職業、生活との間取りの關係 ○住居と敷地設備との調和を考へる ○分國で各時代を分擔しその時代の美術の特性と、時代精神、國民生活との關係のあらましを研究して發表し、それにもとづいて話し合う ○ねじ、山の頂を太い實線、谷の底細い實線 ○ねじ部を二本の平行線で表す ○をねじは外側を太い實線 ○めねじは反對	4. 圖案 ○圖案に對する廣い見解をもたせたい ○解決する能力を養う 1. 生活と美術 ○美術が生活とどんな關係をもつて研究する 5. 製圖 ○簡単な機械の製圖をさせる	理科 家庭園の住居 社會 單元 1 理科 機械	一對比較法 記述尺度法 記述尺度法 記述尺度法

6	防會日梅至休 兼動念 し運の記繁 む小時入夏農	風景スケッチ (鉛筆, ペン) (1)	○學校附近の風景を鉛筆、ペンによつてスケッチする ○建物や、樹木を中心にして、建物の透視法樹木の立體感を描出する ○セメントの特性を明らかにし小砂利、砂、水との混合を練習し、校内の溝の修理をし又新しく増設する	1. 描筆(ペン)の特性を生かす表現の工夫をする 8. コメントの特性を理解せよ、コンクリートの混合及びその使用練習をさせる	農業(2年) セメント工	一対比較法 記述尺度法
7	夕泳會用式暇 水公土終夏	汽車、汽船の機能と形體(2)	○自動車の發明(ダイムラー、一八八二年)當初の形體から現代(一九四七型)の形體と機能(速力)は如何に變化發達し形體美は如何に影響されたかを調べる ○汽船の積載量、スピードの變遷と形體との関連 ○水邊の夏を題材とし風景描寫をする ○季節による色彩の變化を観察する ○夏らしさを表現することに工夫を凝し、努力する	3. 形自動車、汽船の機能と形體美との関係について考察させる 1. 描筆自然美を味いその穿鑿氣を筆面に描き出す工夫をする	社會單元(4.5) 理科機械 電氣粉良	一対比較法 記述尺度法
9	自由研究發表會 水泳大會	夏のシヨウウィンド(2) 製粉機パン機器(2)	○宇都宮市街の各種のシヨウウィンド見學に基づいて夏のシヨウウィンド計畫、商品の陳列配置の仕方を研究工夫する ○季節感と配色を考慮する ○家庭、理科と関連し電氣設備の製粉機パン機器の原理とその扱い方手入の仕方等を實習によつて習得する	4. 圖案的圖案構成を實際生活と結びつけて練習する 9. 理科 備品の保存及び修理 ○家庭や學校にある諸設備や備品の構造用途を解する	社會單元(4.5) 理科機械 家庭電氣粉良	一対比較法 記述尺度法

10	彼十 稻刈り始まる會祭葉休夜 運動營繁三	獸類のスケッチ(1) 色(4) 造型美術と現代生活(1) 植木鉢(2) 秋の果物(2) ろうけつ染め(3)	○獸類(豚山羊、犬、猫、馬、牛)を鉛筆或は鉛筆淡彩によつて速寫し各種の姿態と特徴を研究する ○染料の色と質について研究してみる ○手近なところで代用染料が得られないか工夫して見る ○無地染めを主として古い材料のそめかえしによつて實習する ○材料が許せば絞り染めもやつてみる ○造型藝術が、家庭生活や社會生活にどのよう利用されているかの研究 ○繪畫や彫刻が實際に利用されているところを調べ、どのように人間生活と関連があるかを考える ○植木鉢の形を工夫し木柙を作る ○セメント、砂の混合割合と強度について研究 ○梨、柿、あけび柚等を生徒が持ちよつてモデルの配圖を工夫選擇して寫生する ○立體感と果物の形色の特色を捉えて、色どりはなるべく筆數少く表現して發色をよくする ○布地へ、圖案の下圖をする ○染めぬこうとする個所に筆でろうをぬつて染色する ○布地よりろうを抜く	1. 描筆動物の姿態をよく観察して速寫する練習をする 7. 生活上必要なり手藝品の意匠を練りそれを製作する力を養う ○不足を補い工夫創作する力を養う 10. 生活と美術美術を生活上に利用する道を考えさせる 8. コメントの特性を利用して器物を作る練習をする 1. 描筆果物の質感を表現する工夫をする 7. 手藝材料の選び方、ろうけつ染めの手法技術を習得させる	理科(二年) 染色工業 染色 社會 圖工美術史 工業 セメント 圖工工業 色染物	一対比較法 記述尺度法 記述尺度法 記述尺度法 一対比較法 記述尺度法 一対比較法 記述尺度法
----	----------------------------	--	--	---	--	--

11	明 公 部	治 研 祭 落 祭 會	齒 車 の 製 風 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○齒車の原理と種類を學ぶ ○略寫法、齒形を畫かず齒先圖を畫い、實線齒本圖を普通の點線で示し、兩齒車の咬合つてゐる部分の齒先圖は双方とも太い點線で表す ○水墨畫による秋の風景の表現をさせる ○没骨法(附立)にこだわらず、用紙、畫用紙、何れでもよい、彩色も水彩繪具でよい ○鉛筆で下書きし、墨で描寫し、簡單に彩色する ○應用美術とみられる、服飾家具、調度品、住居、交通機關、生産施設等と日常生活の關連についてそれぞれ、研究題目を選び研究する ○古代の住宅建築から現代まで、時代の要求によつて或は精神生活の内容によつて如何に機能が変わり、形が變つて来たかを見それが美的見地と、如何に關連あるかを研究する ○軸受の種類、機能について實物に當つて研究して見る(軸受臺、軸受金、筒軸受、球軸受、轉子軸受) ○其の中の一つについて製圖してみる、製圖の尺度をきめ圖形の配置を定めることは製圖の基本要領に従う 	記述尺度法
			秋 の 風 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○水墨畫による秋の風景の表現をさせる ○没骨法(附立)にこだわらず、用紙、畫用紙、何れでもよい、彩色も水彩繪具でよい ○鉛筆で下書きし、墨で描寫し、簡單に彩色する 	一對比較法 記述尺度法
			應用美術と生活 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○應用美術とみられる、服飾家具、調度品、住居、交通機關、生産施設等と日常生活の關連についてそれぞれ、研究題目を選び研究する 	記述尺度法
12	音 冬 終	會 至 式	住宅の機能と形 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○古代の住宅建築から現代まで、時代の要求によつて或は精神生活の内容によつて如何に機能が変わり、形が變つて来たかを見それが美的見地と、如何に關連あるかを研究する ○軸受の種類、機能について實物に當つて研究して見る(軸受臺、軸受金、筒軸受、球軸受、轉子軸受) ○其の中の一つについて製圖してみる、製圖の尺度をきめ圖形の配置を定めることは製圖の基本要領に従う 	記述尺度法
			軸受の製圖 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○軸受の種類、機能について實物に當つて研究して見る(軸受臺、軸受金、筒軸受、球軸受、轉子軸受) ○其の中の一つについて製圖してみる、製圖の尺度をきめ圖形の配置を定めることは製圖の基本要領に従う 	記述尺度法

1	元 寒 始業(三學期) 春 渡 祭 寒	旦 り 祭	肖 像 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○鏡に寫した自畫像を習作してみる ○しつかり素描をする ○眞實の自分を寫し出す工夫と努力をする ○人物各種の姿態と特徴を觀察し、簡略單化的な描き方の練習をする ○對象の細末に拘泥しないで大體の形、動き感じ特徴を捉えて表現する ○色が日常生活に如何に利用されており、如何に影響をもつてゐるかを實際についてそれぞれ研究し發表し合う ○代表的日本間の室内設備を見學してそれに基づいて各班に分れて小室内模型を作る ○壁、ふすまの色の工夫、家具の配置の研究をする ○世界美術史の大要を作品を中心にして理解し、美術品と其の時代の動きについて調べてみる ○美術室を見學する 	一對比較法 記述尺度法
			人物クロッキー (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○鏡に寫した自畫像を習作してみる ○しつかり素描をする ○眞實の自分を寫し出す工夫と努力をする ○人物各種の姿態と特徴を觀察し、簡略單化的な描き方の練習をする ○對象の細末に拘泥しないで大體の形、動き感じ特徴を捉えて表現する ○色が日常生活に如何に利用されており、如何に影響をもつてゐるかを實際についてそれぞれ研究し發表し合う ○代表的日本間の室内設備を見學してそれに基づいて各班に分れて小室内模型を作る ○壁、ふすまの色の工夫、家具の配置の研究をする ○世界美術史の大要を作品を中心にして理解し、美術品と其の時代の動きについて調べてみる ○美術室を見學する 	一對比較法 記述尺度法
			色彩と生活 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○鏡に寫した自畫像を習作してみる ○しつかり素描をする ○眞實の自分を寫し出す工夫と努力をする ○人物各種の姿態と特徴を觀察し、簡略單化的な描き方の練習をする ○對象の細末に拘泥しないで大體の形、動き感じ特徴を捉えて表現する ○色が日常生活に如何に利用されており、如何に影響をもつてゐるかを實際についてそれぞれ研究し發表し合う ○代表的日本間の室内設備を見學してそれに基づいて各班に分れて小室内模型を作る ○壁、ふすまの色の工夫、家具の配置の研究をする ○世界美術史の大要を作品を中心にして理解し、美術品と其の時代の動きについて調べてみる ○美術室を見學する 	記述尺度法
			日本間の室内設備 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○鏡に寫した自畫像を習作してみる ○しつかり素描をする ○眞實の自分を寫し出す工夫と努力をする ○人物各種の姿態と特徴を觀察し、簡略單化的な描き方の練習をする ○對象の細末に拘泥しないで大體の形、動き感じ特徴を捉えて表現する ○色が日常生活に如何に利用されており、如何に影響をもつてゐるかを實際についてそれぞれ研究し發表し合う ○代表的日本間の室内設備を見學してそれに基づいて各班に分れて小室内模型を作る ○壁、ふすまの色の工夫、家具の配置の研究をする ○世界美術史の大要を作品を中心にして理解し、美術品と其の時代の動きについて調べてみる ○美術室を見學する 	一對比較法 記述尺度法
			美術史 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○鏡に寫した自畫像を習作してみる ○しつかり素描をする ○眞實の自分を寫し出す工夫と努力をする ○人物各種の姿態と特徴を觀察し、簡略單化的な描き方の練習をする ○對象の細末に拘泥しないで大體の形、動き感じ特徴を捉えて表現する ○色が日常生活に如何に利用されており、如何に影響をもつてゐるかを實際についてそれぞれ研究し發表し合う ○代表的日本間の室内設備を見學してそれに基づいて各班に分れて小室内模型を作る ○壁、ふすまの色の工夫、家具の配置の研究をする ○世界美術史の大要を作品を中心にして理解し、美術品と其の時代の動きについて調べてみる ○美術室を見學する 	並立比較法 順位比較法
2	立 節 元 初	春 節 午	除草器具の製作 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ○鏡に寫した自畫像を習作してみる ○しつかり素描をする ○眞實の自分を寫し出す工夫と努力をする ○人物各種の姿態と特徴を觀察し、簡略單化的な描き方の練習をする ○對象の細末に拘泥しないで大體の形、動き感じ特徴を捉えて表現する ○色が日常生活に如何に利用されており、如何に影響をもつてゐるかを實際についてそれぞれ研究し發表し合う ○代表的日本間の室内設備を見學してそれに基づいて各班に分れて小室内模型を作る ○壁、ふすまの色の工夫、家具の配置の研究をする ○世界美術史の大要を作品を中心にして理解し、美術品と其の時代の動きについて調べてみる ○美術室を見學する 	一對比較法 記述尺度法

後	授	會	現代建築物の機能と形體美(2)	○住宅の機能と形體を實物にあたって比較研究する ○そなたが美の見地と如何に關連をもつかを研究する	3. 形體美の總括的研究をする ○機能と形體美的研究をする	理科(二年) 家(單元2) 生活と美術 圖工	記述尺度法
學	藝	會	美術史(1)	○前時に引續いて總括的話し合いをする	11. 鑑賞を主とした美術史を愛好する精神を養う ○美術を愛する精神を養う	圖工 生活と美術	並立比較法 順位比較法
彼	了	岸	洋間の室内裝飾(2)	○洋間の室内狀況を參觀見學する ○見學の結果を話し合う	4. 圖案に即して廣義の圖案力を養う	社會科(單元2) 理科 圖工 生活と美術	
修		式					

職業科農業學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 第3學年では「農業の經營が堅實になるためにはどうしたらよいか」の問題を解決出来るよう出来るだけ郷土の問題を科學的に解剖するよう考慮した。そのため經營や經濟の實體を數量的にしらべることに重點をおいた。
- 更に農産加工、機械電氣の利用には相當な時限を配當したつもりである。
- 他教科中では時に社會科に關係が深いのであるが特別なもの以外は書いておかなかつた。
- 他教科とちがい 6月10月の農繁期にもおおよそ規定の時間を配當した。
- 總時限數については必修 140時をこれにあてた。
- 題目については興味感や必要感を喚起するために問題式作業式のものを適當にとり入れた。

月	季節と行事	題目(配當時間)	學 習 活 動	單 元	關 連
4	○始業式、入學式 ○春 ○つばめくる ○櫻の花が咲く ○苗代をつくる ○天 長 節	農家の經濟の實際はどうか (12)	○農家の生産と經濟との關係をしらべ ○郷土の農業經營の研究 ○生産要素の經營上の働きの研究 ○各自の家の収入、支出の記録と整理の研究 ○商店會社、工場、簿記の調べと話しあい ○一定の面積當りの生産を高める工夫研究 ○一定の労働當りの生産を高める工夫研究と話しあい ○郷土の農業經營改善の研究と話しあい	單元 1	社會單元 4, 5 數學
5	○新憲法實施記念日 ○こいのぼり ○青葉となる足日 ○創立記念日 ○健康週間 ○傳染病豫防	農耕地を廣めるにはどうか (14)	○國土と耕地面積しらべ ○外國とわが國の一戸當り耕地面積しらべ ○人口と農耕地の割合研究 ○水田と畑地面積との比較と話しあい ○耕地面積と經營との關係をしらべる ○耕地廣めの方法話しあい ○開墾地見つけと開墾話しあい ○高原地開發問題の話しあい ○土地改良、耕地整理、客土、隄土の意味と方法の話しあい ○農地制度の研究と話しあい	單元 2	社會單元 4 理科 (土)

6	○小 運 動 會 ○田 う え ○時の記念日 ○入 梅 ○麥 刈 り ○夏 至	どんな仕組の經營をしたらよいか (12)	○郷土農業の自然的經濟的事務調査と話しあい ○労働力のしらべ方の話しあいと研究 ○農耕地の廣さ地力と經營との關係考察話しあい ○農家經濟力と經營との關係研究 ○郷土農耕技術の吟味反省 ○模範的農家の經營見學 ○多角經營の研究と論文をかく ○共同經營の研究 ○畜力、機械力、加工と經營との關係について話しあう ○精穀機具、能率操作の研究と話しあい ○精穀材料の話しあい ○精米の實習 ○原料玄米の觀察、精米機の様式の研究と取扱ひ方話しあい ○實習した穀類の歩留り ○用途についての話しあい	單元 3 單元 4 農産加工	社會單元 2 家庭單元 2 家庭科
---	--	----------------------	---	--	---

7	夕	農産加工と経営とはどんな関係があるか (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○経営の合理化と農産加工の具體的方法の研究と話しあい ○経済力と農産加工の研究話しあい ○共同経営、養畜と農産加工との話しあい ○うどん作り ○うどん作りの順序の話しあい ○うどん作り機具の操作研究 ○原料とその配合 ○貯蔵、包装の仕方實習 ○うどんのゆで方實習 ○そば作り ○パン作りの原理、順序の話しあい ○パンの種類と原料について話しあい ○パン作りの機具についての研究 ○パンの原料とそのまま方實習 ○イースト入れ ○醗酵時間と氣温の研究觀察 ○焼がまの構造しらすべ ○パン焼き ○酵母の作り方研究 ○製品の品質、外觀感觸、味香、歩留りの話しあい觀察 	同	前	家庭科 (粉食)
	○公開研究会	麵類作り (4)		同	前	家庭科 (粉食) 理科 (食物)
	○土	パン作り (6)		同	前	家庭科 (粉食) 理科 (食物) 理科 (微生物)
	○終業式					

9	○始業式 ○二百十日 ○夏休み研究会 ○水泳大会	研究發表表 (2) 農産加工の將來はどうなるか (4) 畜産物の加工 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ○農業の経営はどんなにしたら堅實になるかを中心に加工、農業機械、經營についての研究發表會を開き發表と質疑應答、批評しあう ○郷土の農産加工の種類、方法の話しあい ○郷土の農産加工の將來についての研究 ○わが國加工品の輸出についての話しあい ○びん詰、罐詰の作り方、原料の話しあい ○家畜の殺し方解體について話しあう ○ハム、ベーコンの作り方順序原料、操作製品の研究と話しあい ○腸詰の作り方しらすべと話しあい ○ベタ作り ○ベタ作りの順序について話しあう ○機具と原料操作についての話しあい ○バター作りの實習 ○菓品の吟味と實習の反省 ○チーズ作りの話しあい ○とうふ作りの順序原料と割合の話しあい ○操作法の研究實習(煮し方、ひき方、煮方、しぼり方、にがりいれかため等の收量とおからの量との比較) ○實習反省話しあい 	同	前	家庭科 (粉食)
	○彼岸					
	○十	とうふ作り (4)		同	前	家庭科 (菜羹) 理科 (食物)

10	○虫 ○みのり ○刈り ○十 ○運 ○紅	り の 刈 三 動 葉	み そ 作 り (8) 水 あ め 作 り (4)	○みその種類, 原料についての話しあい ○みそ作りの順序と期間についてのしらべ話しあい ○原料の準備 ○原料の配合の割合しらべ ○たきこみ実習 ○郷土の味噌の作り方と原料について改善する点についての研究 ○製品の歩留, 貯蔵, 収量, 品質の反省 ○代用味噌の原料作り方の話しあい ○水あめの原料の話しあい ○順序と原理の研究 ○麦芽作り (温度, 湿度のしらべ) ○原料水洗い, ふかし方糖化, しぼりにつめ等の観察, 実習 ○原料についての吟味と話しあい ○さつまあめづくり	單元 4 農産加工 同 前	家庭科 (菜羹) 理科 (食物) 理科 (食物)
11	○明 ○おまつり ○霜	治 まつり	○機械電氣の利用(10)	○郷土農機具發達の歴史研究 ○農業機械の種類しらべと話しあい ○農業機械と経営の關係しらべ ○農機具の價格についてしらべ話しあい ○今後の経営と動力農具の將來について話しあい論文をかく	單元 5	社會 理科 英語 (きかい, 電氣) Belland Jellephone

			しょう油づくり (6)	○原料 製造法, 熟成 製品について研究する ○アミノ酸醬油の作り方, 原料についての研究 ○農家の一年間のみそ醬油の消費量しらべと話しあい ○しょう油, みそ醸造所の見學	單元 4 農産加工	社會 理科 (微生物)
12	○防 ○香 ○多 ○終 ○クリスマス	火 樂 會 至 式 マ ス	機械電氣の利用 (8) なつとう作り (4)	○モーター, 發動機の構造, 操作の研究 實習 ○モーター, 發動機使用の場合の能率しらべ ○一年間の使用日數と経営, 價格, 研究出来る年數との關係を考察する ○モーター發動機の手を傳える仕掛, 用途, 手入法の研究 ○農機具農作工場の見學 ○配線の研究	單元 5 單元 4 農産加工	理科 (きかい) 理科 (たべもの, 微生物)

1	○元 且 ○寒 入 ○始 業 式 ○冬休み研究発表 會 ○あ たり や ○大 寒	○豊作と凶作 (12) ○豊凶の原因探求 ○災害しらべ ○災害と生産物價との關係話しあい ○災害対策の研究 ○共同防除の方法話しあい ○農業保険の研究 ○災害対策論文を書き話しあう	單元 6 ○豊凶と収量との關係しらべ ○豊凶の原因探求 ○災害しらべ ○災害と生産物價との關係話しあい ○災害対策の研究 ○共同防除の方法話しあい ○農業保険の研究 ○災害対策論文を書き話しあう	社會單元 5 理科 (氣象) 理科 (水) 家庭科 (災害の預防)
2	○立 春 ○初 まま ○展 覧 會 ○父 兄 會 ○公 開 研 究 會	○農村の生活 (16) ○農村衣食住の研究 ○衣食住の改善工夫 ○共同の力と生産消費生活との研究 ○農村文化についての論文と話しあい ○農村の保健衛生についての、改善の話しあい	單元 7 ○都市と農村との特色をしらべてみる話しあい ○農村衣食住の研究 ○衣食住の改善工夫 ○共同の力と生産消費生活との研究 ○農村文化についての論文と話しあい ○農村の保健衛生についての、改善の話しあい	家庭 (わが國の住い) 體育 (衣服) 社會單元 4 理科 (きもの) 理科 (家) 理科 (たべもの) 理科 (火) 理科 (燃料) 理科 (生活)

3	○ひ な ま つ り ○梅 の 花 咲 く ○學 藝 會 ○終 了 式 ○彼 岸	私たちの将来 (8) ○農村生活の改善の希望話しあい ○農業の改良研究の具體的方法の話しあい ○試験場、學校の見學 ○將來の計畫について話しあう ○三ヶ年間の反省	單元 8 ○農村生活の改善の希望話しあい ○農業の改良研究の具體的方法の話しあい ○試験場、學校の見學 ○將來の計畫について話しあう ○三ヶ年間の反省	理科 (生活)
---	--	--	--	---------

職業科工業學習指導年次計畫

立案の要旨

- 中學校に於ては各教科の獨自性、教科目標が非常にはつきりとしているので単元の目標から學習素材が強く浮び出されるので、子供の生活を省略して學習内容と単元の目標に重點をおいた。
- 指導が各教科の専門に移されるので季節と行事も特に重要な點をあげて學習活動との關連をはかつたがむりに連絡をつけようとしなかつた。
- 夏季、冬季の特別日課をしない考えから一年間の授業を計算した。
- 工業はまだ指導要領が出ていないので、わかっている範囲内で研究して簡単にその内容を記した。
- 時間的な配當も独自の考えで生徒の實情に應じて決定した。
- 單元も大きく二ツか三ツになつていたので學習素材は出来る限り土地の獨自性をあげた。
- 單元の順序も文部省案と必ずしも一致せず生徒の興味と實力に應じて順序を考えた。
- 單元が非常に工作と近いし密接な關連があるので工作の指導法と特に關連つけた。
- 指導要領を見ていないので不安な點は省略した。
- 工業は製作中心であるので一素材にたつぷりと時間をとつた。
- 季節に應じて適合したやりよい單元を配當した。
- 技術と知識とに指導内容がわかるのであるが餘り内容を明示しないで簡略化した。
- 工業の内容は今までと、ほとんどその内容を異にしているので他教科との關連を慎重にした。
- 一年間を三十五週として時數を決定し實際に出来る各月の時數を行事によつて計算して配當した。
- 工場見學、實習は出来る限り休日を利用して餘り時間に配當しなかつた。
- 製圖設計技術は各單元に何時でも行うように考えて獨別な時間を餘り多くとらなかつた。
- 各單元は文部省試案にもとづいて考えたが、その重點は獨自に考えて決定した。

月	季節と行事	學習素材	學 習 活 動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定
4	始業式 入学式 花見 苗代 天長節 選	血類の製作 (8) 茶碗の製作 (7)	○知らなければならぬこと ○できなければならぬこと 1. 燒物について 2. 粘土について (1) 粘土の性質 (2) 燒き締め (3) 粘土とその他の含有物 (4) 粘土の粘着力 3. 我が國の窯業と陶磁器 (1) 我が國の窯業 (2) 陶磁器の種類と特徴 4. 粘土の精製 5. 成形法 (1) 成形法工具 (2) 成形 A. 手捻り B. 型起法 C. ロクロ成形法 D. 鑄込法 6. 粘土の乾燥 7. 燒成 (1) 素燒	業・手捻りによる皿類の製作になれさせざる 業・素燒、本燒、釉燒の方法を修得する 業・蓋物の製作を工夫練習する 業・急須、水差の口の成形と接合部分の成形を工夫する 業・各種の成形法で選った花瓶の製作を修得する	工 圖 工 圖 工 圖 工 圖 工 圖形	記述尺度法 記述尺度法 記述尺度法 記述尺度法 記述尺度法
5	新憲法實施記念行事 端午の節会 創立記念会 後援會 健康週	蓋物の製作 (6) 急須、水差の製作 (7)				
6	時の記念日 入梅 夏至	花瓶の製作 (8)				

7 水 公 土 終
夕 泳 會 用 式
業 研 究 會
業 用 式

動物、人物の模型製作 (6)

- (2) 本 燒
- (3) 釉 燒
- (4) 樂燒の燒成
 - A. 素 燒
 - B. 釉 燒

- 8. 窯
 - (1) 登り窯
 - (2) 石炭窯
 - (3) 鑄 窯
 - (4) 電氣窯

玩具の製作 (6)

- 9. 燃 料
- 10. 裝飾法
 - (1) 釉 藥
 - (2) 施釉の方法
 - (3) 線 描
 - (4) 素地描畫法
 - A. 下繪付
 - B. 上繪付
 - (5) 樂燒の釉藥

夏 季 休 暇
二 百 十 日
自 由 研 究 發 表 會
水 泳 大 會

步道ブロックの製作 (6)

- できなければならないこと
- (1) 型枠の製作
- (2) 材料の量り方 (水、砂、砂利、セメント等)

記述尺度法

圖 工

窯
・動物、人物の模型を製造して焼成する

記述尺度法

圖 工

窯
・乗物模型、各種人形等の燒成の研究をする

記述尺度法

圖 工
コンクリート工

コンクリート
・歩道ブロックの製作によるコンクリート工の基礎的練習をする

- (3) コンクリートの練り方
- (4) コンクリートの打込み方
- (5) 生コンクリートの表面仕上げ
- (6) 打上コンクリートの保護養生
- (7) 型枠の取外し方
- (8) 製品の取扱い方

○知らなければならないこと

- (1) コンクリートはどろりして固まるか
- (2) 配合の表し方
- (3) 配合の定め方
- (4) コンクリートの工軟度
- (5) 防水コンクリートの要點
- (6) 骨材のこと
- (7) 砂、或は細骨材のこと
- (8) 粗骨材あるいは砂利または碎石のこと
- (9) 切込砂利のこと
- (10) 骨材のよごれのこと
- (11) 砂の中の有害な有機物
- (12) 養中のコンクリートの作業の要點

コンクリート歩道の現場製作 (6)

- できなければならないこと
- (1) 型枠の製作
- (2) 材料の量り方 (水、砂、砂利、セメント等)
- (3) コンクリートの練り方

コンクリート歩道
・歩道ブロックを現場に敷詰め、実際にコンクリート歩道を作る

圖 工
コンクリート工

記述尺度法

2	大	紀	元	節	寒	紋	り	染	(12)	<p>(2) 染色一般の注意 染料の選擇 染料の貯藏 染料薬品の溶解 染料薬品の使用分量 染色に必要な水の分量 染色時間と温度の加減 染色の際の攪拌 染色器 染色用水 水染、脫水、乾燥 (3) 木綿、人造絹糸、麻の染め方 直接染料用法 鹽基性染料上扱法 (4) 絹糸の染め方 酸性染料を用いる法 鹽基性染料を用いる法 5 染色の理論 ○用布、絞用具、染料、薬品を準備する ○下繪をかく ○絞り方の研究 ○染色 ○仕上げ 知らなければならぬこと (1) 基本絞り 縫 絞</p>	圖 手 藝	記 述 尺 度 法
---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	---	-------------	-----------------------

3	初	後	學	彼	修	午	ろ	ろ	う	染	(10)	<p>卷 絞 器具防染絞 (2) 應用絞並雜絞 ○蠟の研究 ○パラフィン、木蠟、松脂 ○蜜 蠟 ○準 備 ○下 繪 ○蠟描、色桶、蠟伏せ ○地 染 ○蠟落し(石鹼法、揮發油法、アイロン法) ○仕上げ ○描更紗の仕方 1. 生地の準備 2. 下 繪 3. 描き染 4. 仕上げ ○直接染料應用の例 ○適當に直接染料を選んで溶かし、糊氣を與えて一色宛、筆で描いて行く</p>	織 防 染 法 の 中 蠟 を 用 い て 防 染 材 料 と す る 防 染 色 法 を 研 究 す る	圖 手 藝	記 述 尺 度 法			
										會		會	岸	式	<p>描 更 紗 (10)</p>	織 し 染 法 の 一 つ と し て 描 き 更 紗 の 方 法 を 習 得 す る	圖 手 藝	記 述 尺 度 法

職業科家庭學習指導年次計畫

立案の主旨

○中學校における家庭科は職業科の中から生徒の希望によつて選擇したものであり、大部分の女子が選擇したものと考へて立案した。どこまでも家事裁縫の合科でなく、新しく家庭建設する能力を養うために生れたのである、各學年の流れを考へてみると

- 1 年は健康にして、手まわしのよい家庭の整理、計畫的の家庭生活を中心としている。
- 2 年は季節と家庭生活が中心となる。
- 3 年は生活の改善が中心となる。

地方に應じて生徒の生活環境が異つているから作業單元學習活動はみづから異つて來るものである。

○教科書の用ひ方は従來の教科とちがい問題を發見する手引きとし、問題解決の手引として用いるのである。又教科書は學習張ともなり問題集ともなつてゐるので、常に持つていてよい参考書となすべきである。計畫の中の關連事項の教一とあるのは教科書との關連を示したものである。

○效果判定の方法は技術的進歩と態度の進歩の狀況をみるのであるから繼續的、な觀察の方法が必要である、季節的月毎などにしてみていくこともよいと思ふ。家庭科學習のうち效果判定は最も重要な問題ではないかと思ふ。

○中學校男子に課す家庭科は今年だけであると思ふが、家庭生活を理解させる程度であるから女子と同じ要求をする必要はない。この場合男女共になすのもよいが、男女別々にやつてもさしつかへはない。

○時間数は 1 週 4 時間として年次計畫を立案した。
計畫は計畫であるから學習しながら反省し實質のともなつたものにだんだん作り上げることが必要であると思ふ。

月	生活環境	作業單元及(時間)	學習活動	目標及單元(文)との關連	效果判定の方法	關連事項
4	<ul style="list-style-type: none"> ○進級したところよびにみちが、級生と強く感じる ○最上級生として自治會の活動は自主的となつて常々學校の中心となつてゐる ○家庭の仕事の理解が相違する時、家庭内の事に疑問をもち、とにかかある 	<ul style="list-style-type: none"> ○上手な時間の用ひ方(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○1 日の生活を表にしてみる <ul style="list-style-type: none"> ・時間的に生活を反省してみる ・何もしてないときはないか ・友だちと生活の話し合いをする ・こんな時間で、という理想的な生活の時間割を作る ・現在の時間割の表をつくつて反省してみる ○時間や努力を省いて能率をあげる工夫をする <ul style="list-style-type: none"> ・食事の支度に使う努力と時間の合理化 ・作業の能率を上げるくふう(分業による作業) 	<ul style="list-style-type: none"> 單一 A, B ○生徒自身、自分の時間の大切なること、他人の時間の大切なることを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の作業計畫を檢討する 	<ul style="list-style-type: none"> 社會科 單六 農業 一〇九
5	<ul style="list-style-type: none"> ○苗代をつくり、田植式の準備に、いそがしい ○氣候もよくなり、スモックが盛んになる 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の出来る衣服(14) 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事についての種類 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の仕事 ・家庭外の仕事 ○仕事の目標による活動着についてどんなところをくふうしたらよいか <ul style="list-style-type: none"> ・服装と形 ・作業の種類と形 ○作業エプロンの製作 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 	<ul style="list-style-type: none"> 單三 ○仕事着を具備すべき條件を會得する ○仕事着を便利にするように工夫する能力をやしなう 單三 A, B ○作業エプロンの形の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事着と作業との關係の理解を考へて法に於て組合せを査する 	<ul style="list-style-type: none"> 圖工 形 五

<p>○野菜がだんだん廻ってくる</p>	<p>・材料 ・製作計畫として型をつくる ・質習 ・反省 ○作業衣についての話し合い</p>	<p>○エプロン製作の技術の修得 ○各種エプロンの工夫</p>	<p>○エプロンの製作態度、作品を記述尺度法にて考查</p>
<p>○衣替えのときである ○梅雨期に入る ○保健衛生の注意がともなうときである</p>	<p>○看護の心がけについて話し合う ○看護の要領について ・病室のようす ・見舞のあり方 ・食事のとらせ方 ・衣服の扱い方 ・器具の扱い方 (吸入器, 便器) ○反省をして質習してみる</p>	<p>単六 A ○正しい親切な看護が出来るようにする ○ふだんの衛生上の態度を氣をつけるようにする</p>	<p>○體育傳染病 ○理科衛生物 ④十一, 十二</p>
<p>○田植えが盛んなり農業休業となる ○農村ではいそがしいときに協同炊事をするところが多い</p>	<p>○現在の食生活についての話し合い ・現在のままの食生活でよいか ・改良すべきところを考えてみる ・自分たちでやれるものはなにか ○粉食について研究してみる ・粉の種類について調べる ・各自にある粉とその調理法 ・粉の成分 ・粉食の長所と短所</p>	<p>単二 ○食生活の改革の一つとして、粉食の重要性を認識して、その技術を習得する</p>	<p>社會科 (單五) 農業 ⑧八</p>

病人の看護 (8)

<p>○入梅はあけて本格的な暑さが来る</p>	<p>・献立をたてて質習する (すいとん, パン) ・粉食の利用法 ○協同炊事について研究してみる ・協同炊事の時期 ・必要な理由 ・炊事場の見學 ・炊事場の設備 ・大炊き法の質習 (給食見習い) ・反省 ○食生活の改善法と私たちの覺悟</p>	<p>單二 B ○食生活の能率化の一端として、共同炊事を實行する素地をつくる ○大量の食品處理の技術を習得する</p>	<p>⑨九 ②二</p>
<p>○傳染病が多くなる</p>	<p>○行事と特別な調理法について話し合う ・特別な調理について話し合う ・客膳料理について話と質習 辨 當 ○たのしい計畫をたてる ・夏休中に家族そろつてキャンプでも海水浴でもする計畫をたてる ・辨當について研究し、質習してみる ・休が終わったら反省會と發表會をする</p>	<p>單八 D ○たのしい計畫をたててその食事の用意にまつての心がまを理解させる</p>	<p>⑦七 ○たのしい計畫の作文をかゝせる</p>

食生活の改善 (5)

たのしい計畫 (5)

○夏休後、不規則な生活になつた
 ○休中のお盆又は彼岸があり、人との交際がある
 ○気候はだんだんすずしくなる
 ○一年を通して野菜の豊富な月である
 ○衣替えの時期である
 ○とり入れがあつて家の中が忙しくなる

近所の交わり(10)

○人を招待したときの話し合い
 ・客を招待したときの禮法
 ・お茶のいれ方とすめ方
 ・挨拶の仕方
 ・お茶菓子のつくり方
 ・客せん料理の賞習
 ○贈答
 ・時期と場所について
 ・品物
 ・うけ方、及やり方
 ○協同作業について
 ・隣保班のようすをみる
 ・いそがしいときの共同作業について話し合い
 ・これからの共同作業
 ○健康な赤ちやんについて話し合う
 ・體格は(標準をみて)
 ・顔色
 ・運動のようす
 ・お乳のみみ方
 ○授乳について
 ・お乳のませ方(母乳)
 ・消化と年齢

乳幼児の世話(18)

○スポーツの盛んなときである
 ○みのもそろそろ終る頃である
 ○寒くなり、火がこいしくなる
 ○火の用心のさけられる時
 ○麥まき終る
 ○年末で多忙である

羽織(24)

○人工榮養の授乳について
 ・量と質と期間との關係
 ・乳の材料(ミルクの種類)
 ・現在のミルクの配給量と乳幼児の發育との關係
 ○乳幼児の衛生について
 ・お湯のあひせ方
 ・乳幼児、幼児の衣服、のとりかえ
 ・衣服について
 ○乳幼児の病氣と死亡率
 病氣の話
 ・死亡率の調査
 ・病氣の手當法
 ○羽織の必要性について話し合う
 ・どんな羽織があり、どのように用いられているか
 ・羽織の歴史についての話し合い
 ○羽織の製作
 ・長着とのちがいと名稱
 ・寸法
 ・たち方
 ・縫い方と順序
 ・仕上げ
 ・着物との關係

○級に於ける子供たちの互に對する態度をみる
 ○常に心地よくするたために心がけていゝかどりかをみる
 ○乳幼児の健康の異常を早く気がつくようにする
 ○乳幼児の病氣にやさしい手當が出来るようになる
 ○羽織が保温調節に便利な衣類であることを理解
 ○羽織の材料、仕立方、着方について習得する

農業(單一)
 ⑦七
 ⑧二
 社會科(單六)
 ⑫十二

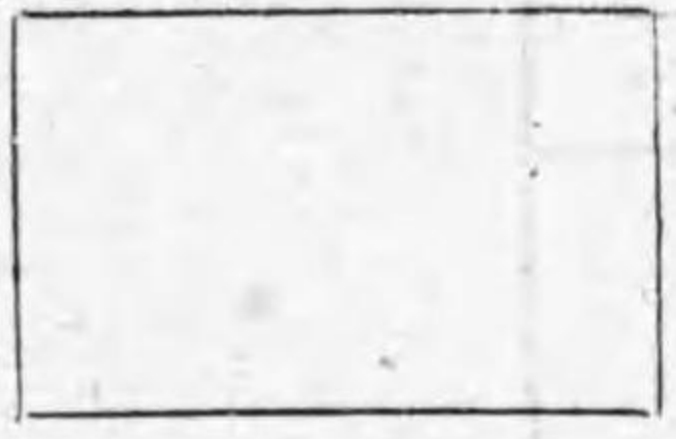
<p>○お正月で、よるごびにみちいける、娘らしい気持をもつ</p> <p>○家計の大切なことを一年の始めに當つて分るべきであらう</p>	<p>○一年間の被服計畫をたてる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季別に手入れ法の研究 ・四季別の衣類について <p>○計畫をたててみる、それを實行にうつす</p>	<p>○作品についての記述尺度法による考查</p> <p>○日常の身なりについて観察する</p>	<p>○一年間の被服計畫をたてる 書き出しが出来るようにする</p> <p>○一年間の被服計畫をたてる 書き出しが出来るようにする</p>	<p>⑬</p>
<p>○室内の仕事が多い</p> <p>○寒さが増加する</p>	<p>○お金が必要か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭と生活との関係 ・金銭の重要性 <p>○金銭の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な関係 ・家の生活水準と金銭の必要額 ・一ヶ月の家計を表につくつてみる ・将来に備えるための費用について ・社会に奉仕する心がまえ 	<p>○家計の重要な意味の理解の程度を考查する</p>	<p>○堅實な家計運営の途を理解する</p>	<p>⑭</p>
<p>○立春、節分がある</p> <p>○雪が多い</p> <p>○農閑期である</p> <p>○中學も終る、義務教育もよい生活から、家庭生活に入る時である</p>	<p>○家計總記入の反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年生の時つけた家計簿をみる ・つけ方はよいか、悪いか ・これからの反省 ・家計簿の重要なわけを考える <p>○二宮先生の話</p>	<p>○合理的な豫算生活の必要を認識させる</p>	<p>○家計の重要な意味の理解の程度を考查する</p>	<p>○</p>

<p>これからの家庭生活</p>	<p>○家庭生活をよくするための女子の心がけについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立派な家庭婦人と立派な婦人 ・たのしい家庭とお母さん ・私たちの家庭へ對する覺悟 	<p>○理想的な家庭生活を作文にかく</p>	<p>理科 家庭生活</p> <p>⑭</p>
<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

248
4
352



昭和二十三年四月二十五日 印刷
昭和二十三年五月一日 發行



新しい學習指導の計畫
中學一、二、三年用

定價 金五十八圓

編 集 者
枡木 師範男子
附屬小、中學校教育研究會

印 刷 並 發 行 者
東京港區赤坂溜池四
大 沼 正 吉

發 行 所
東京港區赤坂溜池四
株式會社 技報 堂

372
a
69



終